

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
日出町	照川地区	令和3年3月30日	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	41.9ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	27.3ha
③地区内における50才以上の農業者の耕作面積の合計	20.0ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	8.0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.4ha
(備考)	
①現況面積(田・畑)から荒廃地等を減じた面積	
②アンケート回答の所有・借入等面積	

## 2 対象地区の課題

人口の減少や高齢化に伴う担い手の不足が問題となっている。  
東部部分において耕作放棄地が多くみられる。  
中央の水田部分については、ほぼ耕作がされている。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体である認定農業者を中心として果樹農家を中心に集約化を図る。  
認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	a	カボス、いちご	0.8 ha	カボス、いちご	1.8 ha	
	b	果樹	1.1 ha	果樹	1.3 ha	
	c	果樹	1.8 ha	果樹	1.9 ha	
	d					
	e	果樹	1.0 ha	水稲、野菜	1.1 ha	
計	5人		4.7 ha		6.1 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>農地の貸付け等の意向</p> <p>集落内での話し合いを深め、情報交換をしながら、意向を探っていく。 町・農業委員会・中間管理機構も情報収集をおこないながら農地貸付の意向について探っていく。</p>
<p>担い手の確保</p> <p>町・農業委員会・中間管理機構支援のもと、集落外から意欲のある生産者に呼びかけをおこない、担い手の確保に努める。</p>
<p>農地中間管理機構の活用方針</p> <p>農地の貸し手・借り手の把握に努め、中間管理機構をとおしたマッチングをおこなう。 地区外の営農団体等担い手に働きかけ農地 の集約化を目指していく。</p>
<p>集落の今後の方向性</p> <p>人・農地プランをテーマに年1回会議を開催し、照川区のプラン進捗について話し合う。その際には、町・農業委員会・中間管理機構も支援をおこなう。 集積性の高い果樹作物の生産に取り組んでいく。</p>